

# 令和4年度学校経営計画書

石川県立内灘高等学校

校長 小 篠 聡

## 1 教育目標

- ① 自主性、創造性に富み、何事にも意欲的な人材を育成する。
- ② 規則正しい学校生活を送り、確かな学力を身につける。
- ③ 責任とモラルを重んじ、他者を思いやる心豊かな人間を育てる。
- ④ ふるさとに誇りを持ち、積極的に地域社会に貢献する人間を育てる。

## 2 中・長期的目標

地域から信頼され、必要とされる学校を目指す。

### (1) 学校の現状

- ① 学校全体に落ち着きが見られるようになったが、一人ひとりの生徒に適切な指導と支援をする必要がある。
- ② 学校設定科目「内灘ベーシック」で学び直しをおこない、基礎学力の定着をさせることで自己肯定感を育成している。
- ③ 生徒の多様な進路志望の実現に向けて、生徒一人ひとりの適性を把握し、進学や就職に向けて早期に進路意識に目覚める手だてを工夫する必要がある。
- ④ 地域社会との連携・協働を図った教育活動を推進し、地域社会から信頼され、必要とされる学校となるように努力する必要がある。

### (2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 挨拶の励行を実践し、基本的な生活習慣を確立させ、向上心を持った生徒を育成する。
- ② 計画的な進路指導と生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな指導で将来に夢や希望を持つ生徒を育成する。また、保育・看護・介護等の体験を通して福祉系マインドを育て、進学や就職の進路実現につなげる。
- ③ 部活動や課外活動に積極的に参加し、豊かな人間関係を築いていける生徒を育成する。

### (3) 教職員・学校組織等の望ましい在り方

- ① 日常的なOJTを効果的に実施し、教員としての責任感を高める。また、教育相談等の研修を通して生徒一人ひとりの実態に即した指導に努める。
- ② 基礎基本の定着を第一とし、必要に応じて発展的学習内容を施した授業を工夫するなど、授業力向上に努める。
- ③ 進路指導に関する研究を深め、生徒一人ひとりに応じた指導法を調査研究・開発し、早期の進路意識の醸成に努める。
- ④ ワークライフバランスやタイムマネジメントを意識して、効率的な業務遂行と組織運営に努める。
- ⑤ PTAや地域社会、同窓会等との連携強化に努める。

## 3 今年度の重点目標

- ① GIGAスクール構想の一人一台端末を活用し、生徒の学ぶ意欲を高め、基礎学力の向上を図り、進路実現につなげる。  
【分かる授業の実践と家庭学習時間確保】
- ② 生徒の基本的な生活習慣の確立を図り、規範意識を高めるとともに、18歳成人に向けて自己決定力を育む。  
【挨拶や人間関係づくりなどに留意した生徒指導や教育相談の実践】
- ③ 同窓会や地域との連携や情報発信に努め、地域から信頼され必要とされる学校を目指す。  
【外部との連携で社会参画意識の醸成】
- ④ 時間管理を意識し、業務分担と協力体制により、業務の効率化を図る。

【教職員の多忙化改善】